

東桂小だより

令和2年度

第8号 令和2年 12月22日 発行責任者：校長 志村 雅巳

学校教育具体目標

- ① 進んで学ぶ子ども
- ② 思いやりのある子ども
- ③ 健康でたくましい子ども

令和2年は、保護者や子ども達・地域の皆様に感謝の一年でした。

いよいよ今年も残すところ、あと1週間余りとなりました。振り返ってみると、今年は、世界中が新型コロナウイルスによって変化をもたらされた一年でした。2019年12月31日、中国湖北省武漢市で病因不明の肺炎の集団発生が報告され、1月9日、中国当局は、このウイルス性肺炎の原因が、新しいタイプのコロナウイルスであり、既知の他のヒトコロナウイルスとは異なるものであったことをメディアで報告しました。

この時点では他国の出来事であり、国民の誰もが今のような危機感を持ち合わせていなかったように思います。しかし翌1月には、国内で10人が渡航歴もなく感染し、発症していたことがわかりました。その後、チャーター便による武漢からの日本人帰国やクルーズ船（ダイヤモンドプリンセス号）での感染状況を知るにつれ、地方においても少しずつ緊迫感を持ち始めたように記憶しています。

そして学校では2月28日、全国一斉臨時休業が発せられ、そのまま新年度を迎えることになりました。卒業式や入学式までも実施できるかどうかの瀬戸際であり、未知な対応を迅速に行わなくてはいけない状況に追い込まれました。この間、自宅待機を余儀なくされた児童は自宅学習、そのため仕事にも行けなくなる保護者、預かりを依頼された祖父母や親類・知人の方々には多くの負担がのしかかった事と思います。また、都留市内としては一番多くの児童を受け入れている東桂地区の学童では、指導員の方々の並々ならぬご支援と連携のもと、密を避ける工夫を施しながら預かりを実施しました。その蔭にも低学年は、家庭で見ていただく等の支えがあっての事だったと認識しています。

本当に、地域ぐるみで一丸となり、困難な状況を乗り越えてこられたのだと感謝しております。

一方で、新生活様式と言われるように、学校においても様々なところで、今までの考え方や実施方法について「こんな方法・あんな方法」を考え、試行錯誤しながら取捨選択する機会にもなりました。多くの情報が錯綜し、何が正解なのかもわからない状況であったわけですが、どんな状況になろうとも「全ての子ども達を元気に・安全に・安心して通える学校」を目指す事に変わりはありません。

まだまだ、この状況は続くことが予想されます。今後も東桂小学校は、保護者・地域の皆様に支えていただかなければ教育活動は成り立ちません。

来年も、多くのご理解とご支援をいただく事になろうかと思えます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。



お正月あれこれ！

今年の12月は例年と違い、来年がコロナに振り回される事なく良い年である事を願いながら毎週末のように大掃除をしています。そもそもお正月とは何なのでしょう？

本来「正月」とは新年最初のひと月、つまり1月の別称です。しかし、現在では正月行事をする期間を「正月」と捉えることが多く、地域差はありますが1月7日の松の内までや、1月15日の小正月までを指すようになっていきます。

正月には「年神様」をお迎えし、おもてなしをして見送るための伝統行事が数多くあります。年神様とは新年を司る神様で、元旦に家にやってきて、1年の幸せや健康をもたらしてくれるとされているため、正月行事を通して、新年の五穀豊穡や家内安全を願います。

子どもたちの正月の楽しみといえば「お年玉」。今では現金を大人から子どもに渡す習慣になっていますが、もともとは年神様から新年に新しい魂「年魂（としだま）」を授かることをいいました。

年神様は鏡餅などの「お供え餅」に宿ります。そのお供え餅を餅玉に分けたものが「年魂」で、これを家長が「御年魂」「御年玉」として家族に分け1年を元気に過ごす活力を与えました。この餅玉を食べる料理が「お雑煮」です。お餅からお金になったのは、今から60年弱前の昭和30年代後半高度経済成長期の都市部からだと言われています。それほど古いものではないですね。



無限大の可能性！

先日、お笑いの番組（M-1）を見てみると、「え？えー！」なんと、そこに出演していたニューヨークというコンビの一人が、富士吉田市の中学校に勤務していた時の教え子だったのです。当時のことを思い出しても、芸人を目指すようなイメージはありませんでしたので大変驚きました。その他、バスケットで日の丸を付けて全日本で活躍した生徒や現在でもアナウンサーとして活躍している教え子もいますが、子ども達の無限の可能性に改めて驚かされました。

どんな事も、ひたむきに努力する姿は美しく掛け替えのない事です。子ども達には、そんな事を伝えていきたいと思えます。

2学期 表彰一覧（自己申告）

（順不同：敬称・学年・組省略）

第35回 関東小学生バレーボール大会	優勝	平井優楽	池谷菜々美	佐藤英怜奈	長田芽彩				
第57回 山日YBS杯県少年野球大会	ベスト4	志村碧唯	平井翔大	奥原莉子	佐藤 丞	佐藤綾星	志村柊人	亀田大惺	奥原理央
		近藤悠惺	滝口凜太郎	佐藤暁人	長田 芹	志村幸希	黒部遙珀	佐藤祐希人	
山梨県学童水泳競技大会 小学校3・4年女子の部	50m自由形				1位	尾上ゆな			
第1回山梨県女子U-12サッカー大会Bブロック					1位	堀内絆愛			
山梨県立考古学博物館 第18回「わたしたちの研究室」					館長賞	小坂愛香			
第66回青少年読書感想文全国コンクール	県入選	柏木彬来							
支部特選		柏木彬来	杉本結音	深澤誠央里	小坂愛香	渡邊まな	高橋遼馬		
令和2年度明るい選挙啓発キャッチフレーズ	優秀賞	日向れりあ		佳作	吾妻実莉				
増田誠大賞	市長奨励賞	星野 倅	議長奨励賞	後藤叶翔	教育長奨励賞	後藤愛莉			
入選	本田涼音	高橋遼馬	小俣芽以	清水悠生	井出梨夢	森 絢叶	勝俣希絆		
	下村一晃	清水琉華	清水琉海	本田音羽	杉田龍斗	濱田勇氣	安留朝日	森 琴叶	
第12回防火ポスターコンクール	消防長賞	小佐野真衣	森 絢叶	消防団長賞	初原叶眞				
安全協会長賞	輻形承助	努力賞	小俣瑠華	岡本珠亜	脇坂羚太	佐藤愛加	白井来麗羽		
JA交通安全ポスターコンクール	銅賞	中野萌夏	柏木彬来	佳作	後藤愛莉	日向れりあ			
JA書道コンクール	銅賞	日向れりあ	佳作	森 絢叶	関戸蒼空	高部萌愛			
教育祭図工・美術作品展	県特選	中野萌夏	濱田大地	佐山雄志	武井優陽	齊藤 紅	柏木彬来		
地区特選	中野萌夏	福澤人和	小俣芽以	志村真澄	濱田大地	赤田龍咲	日吉咲心	小俣惺珀	
	森 絢叶	渡邊真弥	佐山雄志	山口大虎	武井優陽	渡邊翔真	齊藤二瑚	齊藤 紅	
	青木紗恵	渡邊琉莉	初原史恩	高部萌愛	勝俣結望	柏木彬来	土井雪花		
都留地区児童生徒理科自由研究発表会	優秀賞	馬木慧人	清水悠生	森 絢叶					
書道研究慶明会書画展覧会	銀賞	中野景次郎	清水琉華	佐藤愛加	山口凜亜	関戸 玄			